

作成日：令和5年7月5日

令和5年度 第一回当事者団体・家族会連絡会のご報告をいたします。

日付	令和5年6月15日(木)
時間	14:30~16:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター 第1研修室
参加機関等	むつみ会、高松市障がい福祉課、高松市身体障害者協会、障害者生活支援センターあい、地域生活支援センターこだま、地域活動支援センタークリマ、ライブサポートセンター、高松市障がい者基幹相談支援センター 順不同計7名

議題1：市政出前ふれあいトーク 防災対策について	
議事	<p>○講師：高松市役所 危機管理課より</p> <ul style="list-style-type: none">・熊本県震災、宇和島水害の救済に行った経験談・避難所の現状 <p>各コミュニティセンターを避難所として開設する。避難所において福祉エリアを開設する。</p> <p>○質疑応答</p> <p>① 福祉避難所はあるのか？</p> <p>まずはコミュニティセンターなどの一般の避難所に一旦、避難する。その後、福祉避難所を開設という流れになる。</p>
議題2：防災グッズの体験・意見交換	
議事	<p>防災グッズを手にとってみる、非常食の試食をしてみて障がい種別に応じて実際に必要なものが何か考える。</p> <p>○障がい種別を問わず必要なもの</p> <ul style="list-style-type: none">・モバイルバッテリー・車のシガーソケットから充電できる機器・サランラップ・薬、薬手帳、障がい者手帳・水・靴・手帳を持ち運ぶのも良いが携帯の写真で撮影してデータとして持つておく。←ミライロIDという携帯アプリを使用して手帳情報を提示できる。 <p>○精神障がい</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ ・カード ・手帳と名刺が合わさったもの ○身体障がい <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールベッド→各コミュニティセンターに一定数の備えあり。 ・介助をどれだけして貰えるか？ ○知的障がい <ul style="list-style-type: none"> ・プライベートを確保するパーティションやテント→各コミュニティセンターに一定数の備えあり。 ・イヤーマフ、イヤホン ・自分の好きなお菓子 ○質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄はどれぐらい必要か？ →一週間分 ・マンションからの避難するには？ →周りの人手が必要。 ・要援護者台帳に登録しているが、どれぐらいで救助に来てくれるのか？ →地域の民生委員に相談しておく。 ・障がい者への理解がどこまであるか？現状として、避難所に避難できず自家用車で生活するという選択肢も認めて欲しい。 ・高松市障がい福祉課より「各避難所にたかまつあんしん楽々ボード・たかまつあんしんバンダナ」を設置している。
--	--